

# 地域の環境を生かした学習活動と地域行事との有機的なつながりを目指して

富士河口湖町立富士豊茂小学校

## 1【目的と経緯】

本校のある富士ヶ嶺地区は、富士山の南麓に位置し、標高約800～1,000メートルの高原地帯にある。富士山麓の冷涼で広大な自然環境を活かした高原酪農が行われており、乳牛の飼育や牛乳・乳製品の生産が地域の重要な産業となっている。また、「富士ヶ嶺大根」も、品質と味の良さで知られている。本校においても、富士ヶ嶺大根を学校活動の中で栽培してきた経緯がある。コロナ禍以前は、大根を調理する活動を行っていたが、現在では、大根を栽培し、2学期の学校開放日でもある「豊小カーニバル」において、保護者にプレゼントする活動となっている。ちなみに、今年度は、保育所と小学校の連携の一環として、大根の収穫に富士ヶ嶺保育所の園児を招待した。



今年、数年ぶりに地域のイベント「富士ヶ嶺ファームフェスタ」が復活したことに伴い、育てた大根を来場者にプレゼントしてはどうか、という声が保護者や地域の方から上がった。当日は、あいにくの雨であったが、育てた大根は、児童の呼び込みの効果もあり、あっという間になくなった。

また、ファームフェスタに出店していたふれあい共生会の方から、ドライフラワーを使って製作体験をどうか、という提案があった。そこで、クリスマスに合わせ、リース作りを教えていただくこととなった。

## 2【内容】

	学校での学習活動	保護者・地域との連携
8/23	大根畑のマルチ張り(教職員)	大根畑の耕うん(保護者の方)
8/25	大根の種まき(児童)	
	水やり・草取り等、大根の世話(児童・教職員)	
11/5	大根の収穫(児童・保育所園児・教職員)	
11/8	豊小カーニバルで保護者へプレゼント(児童)	
11/9		ファームフェスタにいらした方にプレゼント(児童・保護者・地域の方)
12/9	クリスマスリース作り(児童・教職員)	クリスマスリース作りの指導(ファームフェスタでドライフラワー店を開いていた共生会の方々)

## 3【成果と課題】

○お家の方や来場者の方々が、児童が育てた大根を喜んでくださることが、児童にとっては、大変うれしかったようである。

○今回、ファームフェスタが復活したことで、児童が栽培した大根を有効に活用することができた。児童の活躍の場が広がった点については、大変有意義であった。

○共生会の方々のご提案により、クリスマスリース作りを行うことができた。地域の方々との距離の近さ、小規模校ゆえの動きやすさを生かし、学習活動に取り入れられる活動は、今後も取り入れていく。

●継続可能な活動については、今後もブラッシュアップを重ねて取り組んでいく。

